

# 電子証明書更新手順書

(Linux\_Firefox)

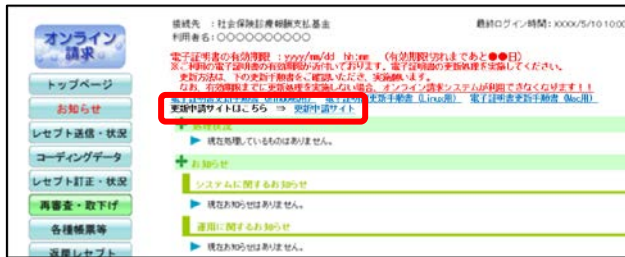
令和5年3月1日

## 【目 次】

1	更新申請画面からの更新	1
	こんなときは！「証明書の更新作業に失敗した場合」	4
2	証明書のインポート	5
3	Java 実行環境に電子証明書をインポート	9
4	証明書のバックアップ	13
5	証明書の削除	14
6	Java 実行環境の電子証明書を削除	17
7	オンライン請求システムからログアウト及びログインをする	20

## 1 更新申請画面からの更新

オンライン請求ネットワークへ接続の端末（レセプトオンライン用端末）で電子証明書を更新します。



1. オンライン請求システムで利用している電子証明書の有効期限が90日未満になると、電子証明書の更新を促すメッセージが表示されます。

「更新申請サイト」のリンクをクリックすると、更新申請画面へアクセスします。

### ■証明書更新申請サイト URL

<https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/ru>



2. 更新対象の証明書を選択し、「OK」をクリックします。

※発行者が「**Online Billing NW Common Root CA**」と表記されていることを確認



3. 「証明書更新申請」をクリックします。

### 鍵更新申請情報の確認

以下の内容で証明書更新申請を送信します。  
よろしければ「Submit」ボタンをクリックしてください。

Common Name	0110119153
Organizational Unit	medical
Organizational Unit	hokkaido
Organization	ReceiptOnline
Country	JP
通知用メールアドレス	Test@cybertrust.co.jp
申請用データ	

**Submit**

4. 「Submit」をクリックします。

### 送信完了

申請情報を受け付けました。  
証明書の発行申請はこれで完了です。

申請の受付情報

リクエスト ID	202012140100076
リファレンス ID	zigLUVc29Q
証明書ステータス	発行済み

受け付けた申請情報の詳細は以下のとおりです。

Common Name	0110119153
Organizational Unit	medical
Organizational Unit	hokkaido
Organization	ReceiptOnline
Country	JP

5. 証明書ステータスが「発行済み」となれば証明書が発行されます。

証明書ステータスは、「鍵生成中」→「発行要求中」→「発行済み」と遷移します。

### 鍵の取得

ダウンロードしたい鍵の発行申請時のリクエスト ID と、鍵を暗号化するパスワードを入力してください。

リクエスト ID

パスワード


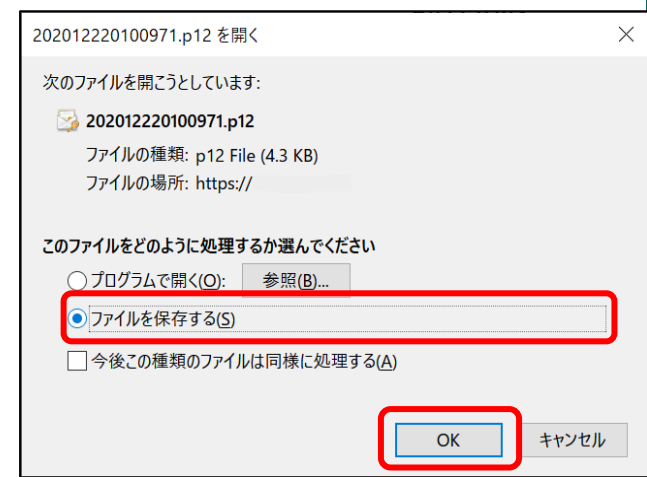

パスワードの確認

**Submit**

6. 「鍵の取得」画面に遷移後、任意のパスワード半角数字 4 桁を入力し、「Submit」をクリックします。

#### 【注意】

入力した証明書パスワードは、「2 証明書のインポート」の 5 及び「3 Java 実行環境に電子証明書のインポート」の 6 で使用します。設定したパスワードを忘れないようにしてください。

	<p>7. 「<b>鍵の取得</b>」画面に遷移したら、「<b>Download</b>」をクリックします。</p>
<p>●Ubuntu18.0.4 以前の場合</p>  <p>●Ubuntu20.04 以降の場合</p> 	<p>8. 電子証明書を保存する。</p> <p>●Ubuntu18.0.4 以前の場合</p> <p>ポップアップ画面から「ファイルを保存する」を選択後、「OK」をクリックし、保存します。</p> <p>●Ubuntu20.04 以降の場合</p> <p>ダウンロードフォルダに保存されます。</p> <p><b>【注意】</b></p> <p>電子証明書はダウンロードフォルダに保存されますので、デスクトップ上にファイルを移動してください。</p>
<p>9. 証明書のインポートは、「2 証明書のインポート」及び「3 Java 実行環境に電子証明書をインポート」を参照ください。</p> <p>10. 「5 証明書の削除」及び「6 Java 実行環境の電子証明書を削除」を参照し、古い証明書を削除ください。</p>	

## こんなときは！「証明書の更新作業に失敗した場合」

証明書または鍵の更新作業中に、ネットワーク等の障害で証明書または鍵の取得に失敗した場合や「証明書更新申請」をクリックした際に「この証明書は既に更新の上限回数に達しています。」とメッセージが表示された場合は、再度証明書または鍵を取得してください。



1. 更新申請画面の「更新後証明書の取得」をクリックします。

○一覧に情報が表示されている場合は、対象の更新済み証明書の「Download Key」をクリックして証明書を取得してください。

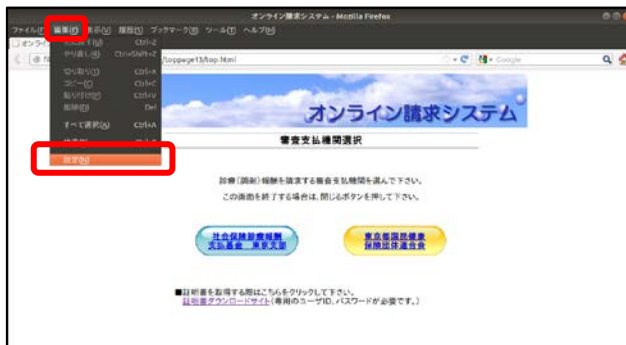
○一覧に情報が表示されていない場合は、更新申請が完了していませんので、「1 更新申請画面からの更新」からやり直してください。

更新申請情報の一覧					
1 件中 1 - 1 件目を表示しています。					
リクエストID	Common Name	証明書更新申請日時	有効期限	ステータス	取得
202012140100076	0110119153	2020.12.14 17:39:00	2024.03.14 17:39:07	発行済み	Download key
Previous 20			Next 20		

2. 「Download Key」 ボタンをクリック後に 3 ページの「鍵の取得」画面が表示されます。

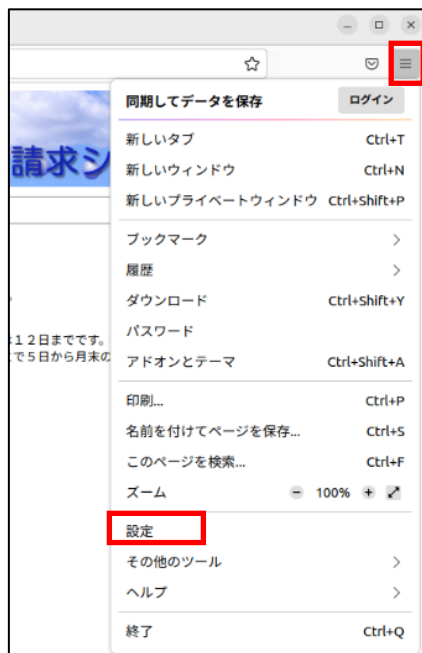
## 2 証明書のインポート

### ●Ubuntu18.04 以前の場合



1. Firefox ブラウザを起動し、クライアント証明書をインポートする。ブラウザの「編集」をクリックし、メニュー一覧から「設定」をクリックします。

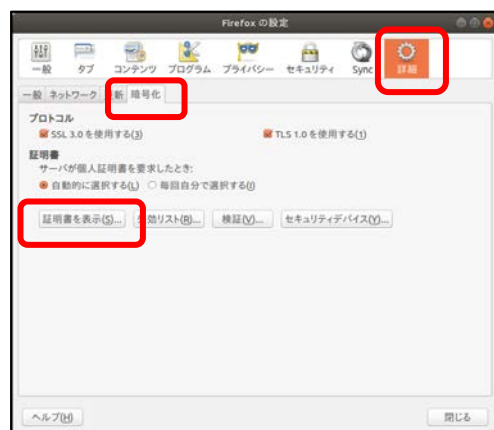
### ●Ubuntu20.04 以降の場合



### ●Ubuntu20.04 以降の場合

右上の「メニュー」をクリックし、「設定」をクリックします。

### ●Ubuntu18.04 以前の場合



2. 電子証明書を表示させる。

### ●Ubuntu18.04 以前の場合

「Firefox の設定」が表示されます。「詳細」をクリックし、「暗号化」タブから「証明書を表示」をクリックします。

## ●Ubuntu20.04 以降の場合

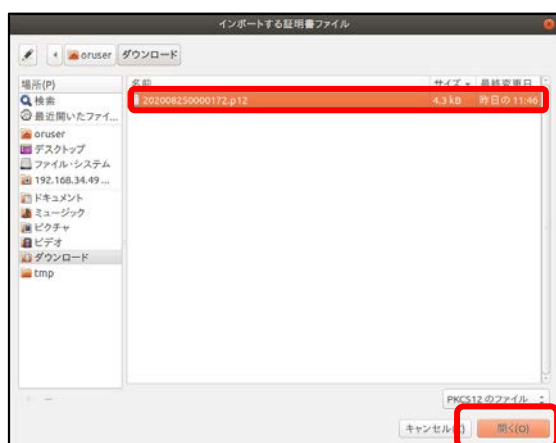


## ●Ubuntu20.04 以降の場合

「設定」画面で、「プライバシーとセキュリティ」をクリックし、「証明書を表示」をクリックします。



3. 「証明書マネージャー」が表示されます。  
「あなたの証明書」タブを選択し、「インポート」をクリックし、「1 更新申請画面からの更新」でダウンロードした、証明書の保管場所（デスクトップ）を指定します。



4. 「インポートする証明書ファイル」が表示されます。

保管場所からファイル名に選択されているファイルが、「1 更新申請画面からの更新」でダウンロードした証明書ファイルと同一であることを確認し、「開く」をクリックします。



●Ubuntu18.04 以前の場合



●Ubuntu20.04 以降の場合



5. 「パスワード入力」画面が表示されます。  
「1.更新申請画面からの更新」の6で「証明書パスワード」に設定したパスワードを入力し、「OK」または「ログイン」をクリックします。

●Ubuntu18.04 以前の場合のみ

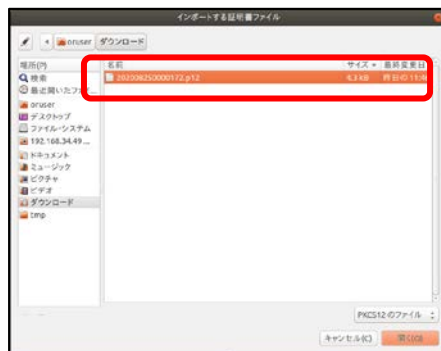


6. 「警告」画面が表示されます。  
「OK」をクリックします。



7. 証明書がインポートされます。  
インポートした証明書を選択し、「表示」をクリックします。

## ●Ubuntu18.04 以前の場合



## ●Ubuntu20.04 以降の場合



## 8. 「証明書」画面が表示されます。

## ●Ubuntu18.04 以前の場合

「発行者の一般名称 (CN)」が「Online Billing NW Common Root CA」と表示されることを確認します。

## ●Ubuntu20.04 以降の場合

「発行者名の共通名」が「Online Billing NW Common Root CA」と表示されることを確認します。

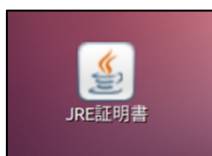
※「発行対象の一般名称 (CN)」又は「主体者名の共通名」と「証明書の有効期限」を忘れないようメモまたはプリントスクリーン機能を使用して画面を取っておくと便利です。

### 3 Java 実行環境に電子証明書をインポート

パソコン上にダウンロードした電子証明書を Java 実行環境にインポートします。

この操作は、Ubuntu18.04 以前を使用される場合の操作になります。

(Ubuntu20.04 以降は不要)

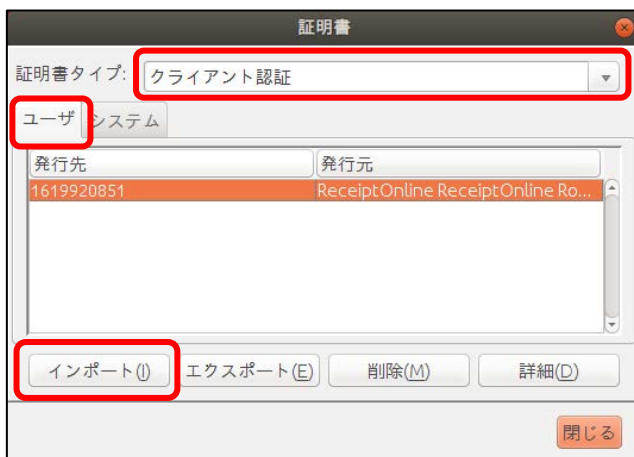


1. デスクトップ上の「JRE 証明書」アイコンをダブルクリックします。



2. 「Java コントロールパネル」画面が表示されます。

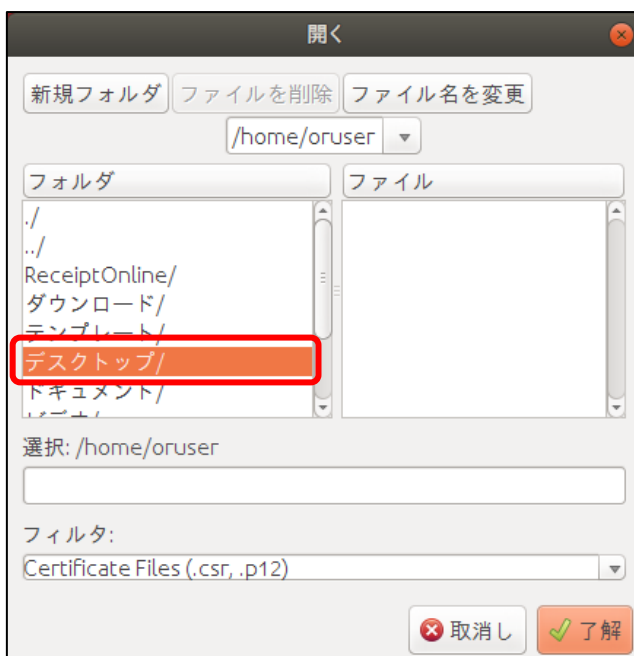
「セキュリティ」タブを選択し、「証明書」をクリックします。



3. 「証明書」画面が表示されます。

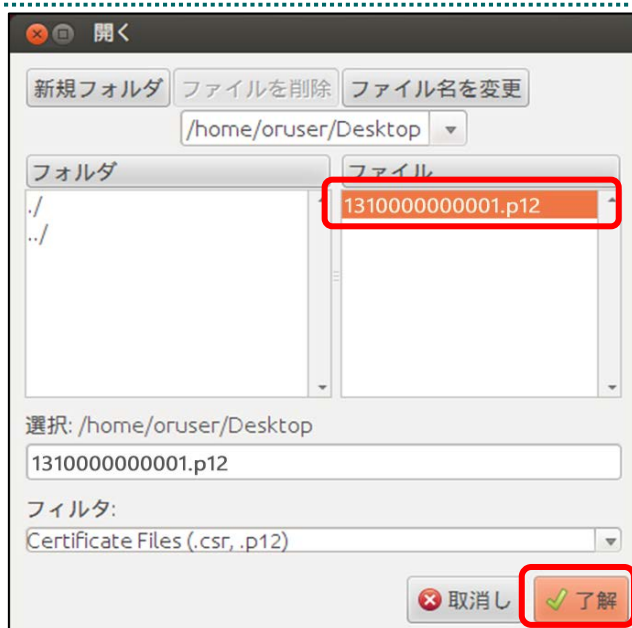
「証明書タイプ」の「▼」をクリックし、「クライアント認証」を選択します。

「ユーザ」タブを選択し、「インポート」をクリックします。

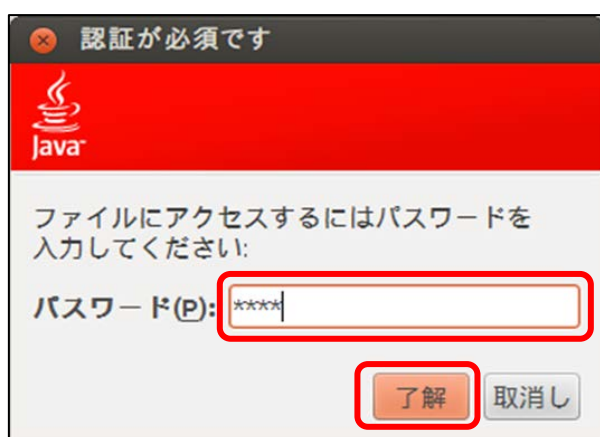


4. 「開く」画面が表示されます。

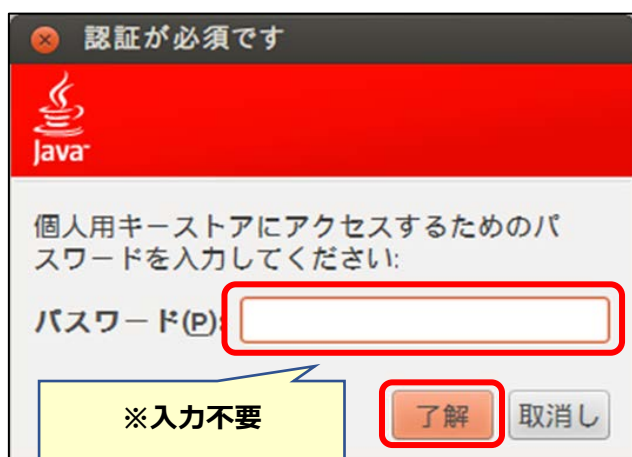
「デスクトップ」をダブルクリックします。



5. ダウンロードした電子証明書を選択し、「了解」をクリックします。



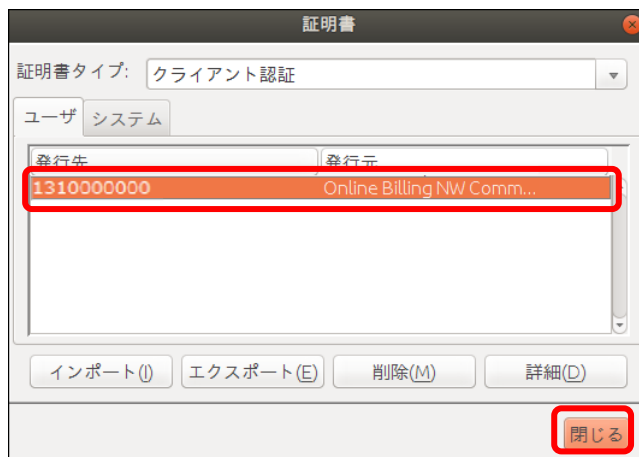
6. パスワード入力メッセージが表示されます。「1 更新申請画面からの更新」の6で「証明書パスワード」に設定したパスワードを入力し、「了解」をクリックします。



7. 引続き、パスワード入力画面が表示されますが、個人用キーストアにアクセスするためのパスワードは入力せずに、「了解」をクリックします。

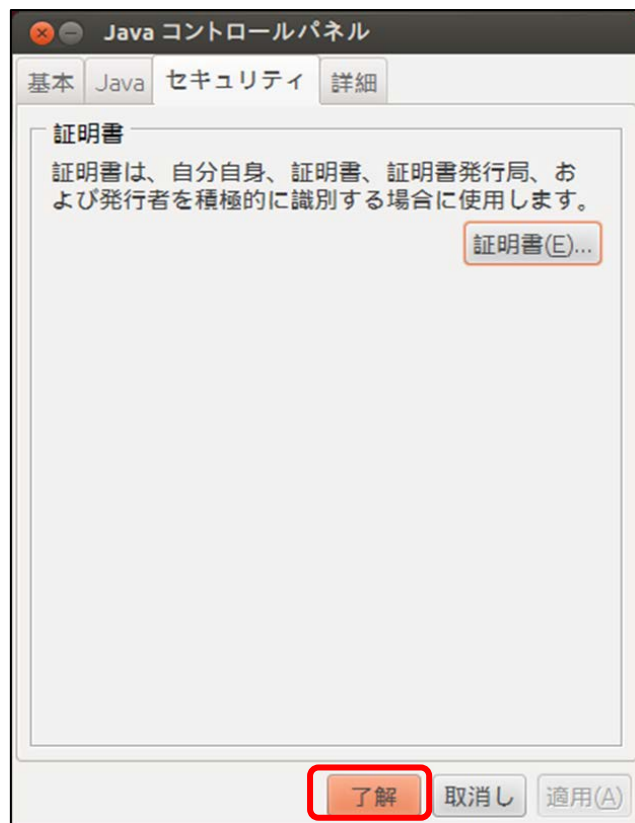
**【注意】**

電子証明書はダウンロードフォルダに保存されますので、デスクトップ上にファイルを移動してください。



8. 「証明書」画面に戻ります。

「発行元」に「**Online Billing NW Common Root CA**」と表示されていることを確認し、「閉じる」をクリックします。



9. 「Java コントロールパネル」画面に戻ります。

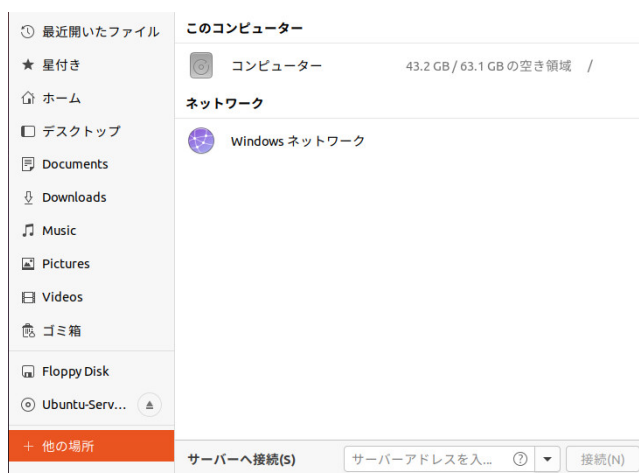
「了解」をクリックします。

## 4 証明書のバックアップ

外部記録媒体等へ証明書をバックアップします。バックアップした証明書はパソコンが故障した際などに他のパソコンにインポートします。その際には、「1 更新申請画面からの更新」で設定したパスワードも必要となるため、忘れないように記録し保管してください。



1. インポートを行った証明書ファイルを選択し右クリックで「コピー」を選択します。



2. 外部記録媒体等をパソコンに接続し、認識されたドライブを開いて右クリックし、表示されたメニューより「貼り付け」を選択します。

3. バックアップが確実に実施されたことを確認します。

4. 「1 更新申請画面からの更新」で設定したパスワードを保管してください。

### 【注意】

「証明書」「証明書の取得画面で入力した証明書パスワード」は厳重に管理してください。

証明書の情報が第三者に知られると、証明書が不正に使用される恐れがあります。

証明書を紛失した場合、または、第三者に知られた可能性がある場合は、速やかに証明書失効申請を行ってください。また、パソコンを紛失した場合も証明書が不正に使用される恐れがあります。速やかに証明書失効申請を行ってください。

### 証明書のインストール作業はこれで終了です。

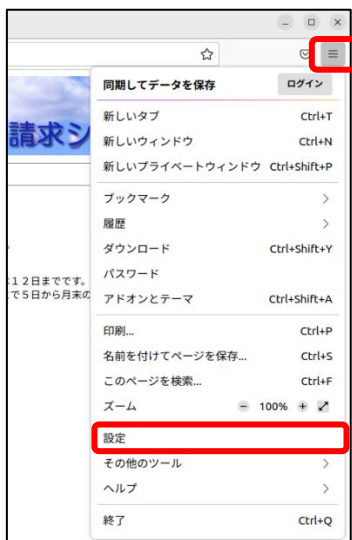
引き続き「5 証明書の削除」及び「6 Java 実行環境の電子証明書を削除」により、有効期限の古い電子証明書を削除してください。

## 5 証明書の削除

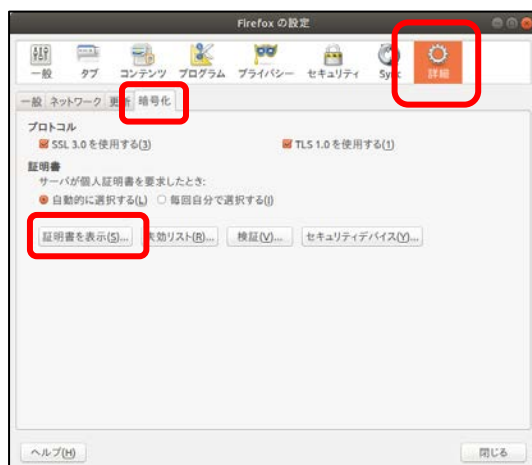
### ●Ubuntu18.04 以前の場合



### ●Ubuntu20.04 以降の場合



### ●Ubuntu18.04 以前の場合



1. メニューバーから「編集」―「設定」の順に選択します。

2. 電子証明書を表示します。

### ●Ubuntu18.04 以前の場合

「Firefox の設定」が表示されます。

「詳細」をクリックし、「暗号化」タブから「証明書を表示」をクリックします。

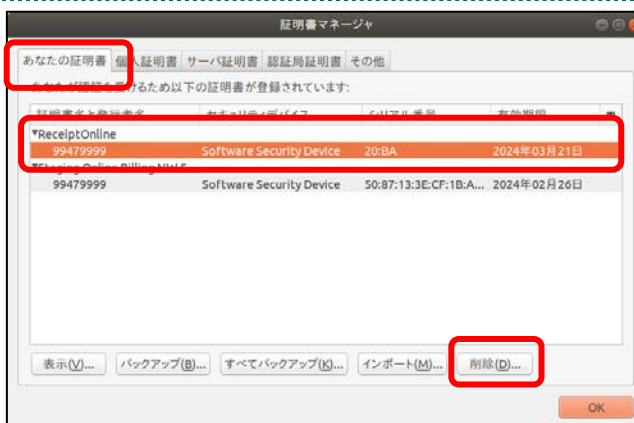


## ●Ubuntu20.04 以降の場合



## ●Ubuntu20.04 以降の場合

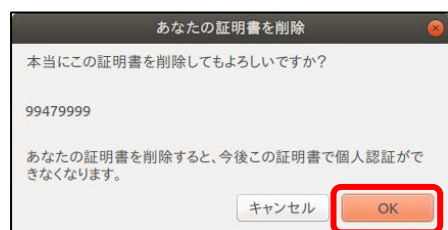
「設定」画面が表示されます。「プライバシーとセキュリティ」をクリックし、「証明書を表示」をクリックします。



3. 「証明書マネージャー」が表示されます。「あなたの証明書」タブを開き、削除対象の古い証明書（「有効期限」の日付が古い証明書）を選択し、「削除」をクリックします。

※ 新しくインポートした電子証明書を削除しないよう、有効期限の日付を十分確認して「削除」をクリックしてください。

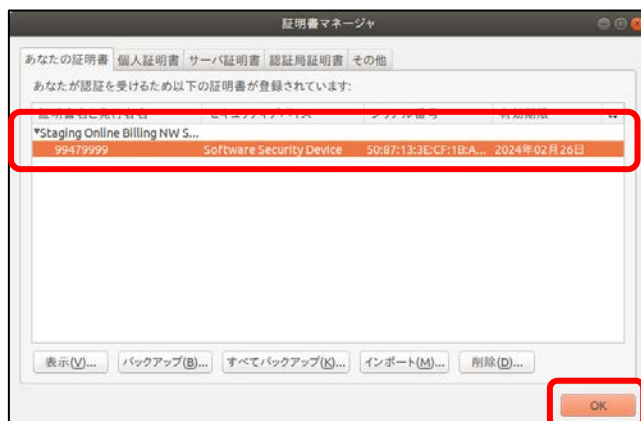
## ●Ubuntu18.04 以前の場合



4. 確認画面が表示されます。「OK」をクリックし、証明書を削除します。

## ●Ubuntu20.04 以降の場合





5. 「証明書マネージャー」が表示されます。  
削除を行った証明書が一覧から消えていることを確認します。  
確認後、「OK」をクリックします。

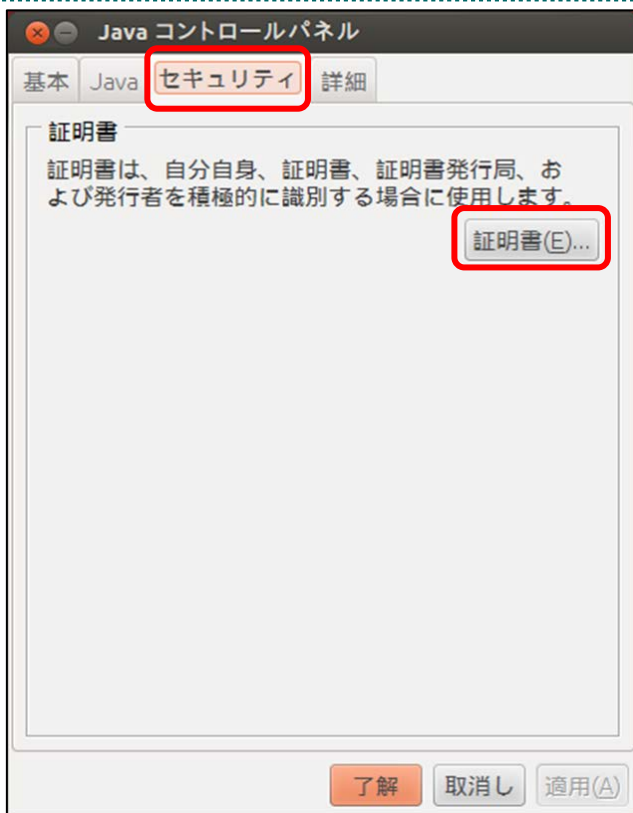
## 6 Java 実行環境の電子証明書を削除

この操作は、Ubuntu18.04 以前を使用される場合の操作になります。

(Ubuntu20.04 以降は不要)



1. デスクトップ上の「JRE 証明書」アイコンをダブルクリックします。



2. 「Java コントロールパネル」画面が表示されます。

「セキュリティ」タブを選択し、「証明書」をクリックします。

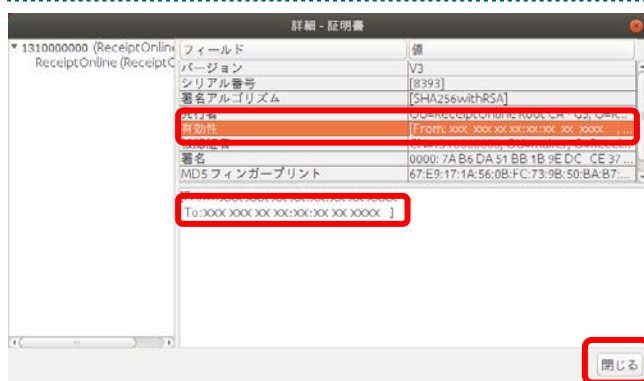


3. 「証明書」画面が表示されます。

「証明書タイプ」の「▼」をクリックし、「クライアント認証」を選択します。

「ユーザ」タブを選択し、複数行表示される証明書を「詳細」をクリックします。

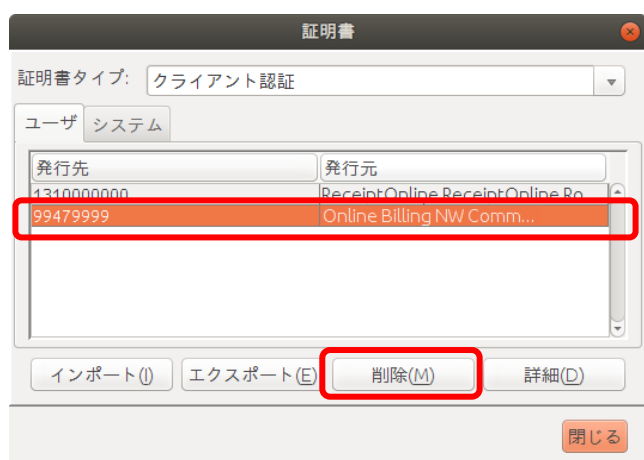
(古い有効期限の日付を確認するため、手順3、及び4を繰り返します。)



4. フィールド列の「有効性」の行を選択します。

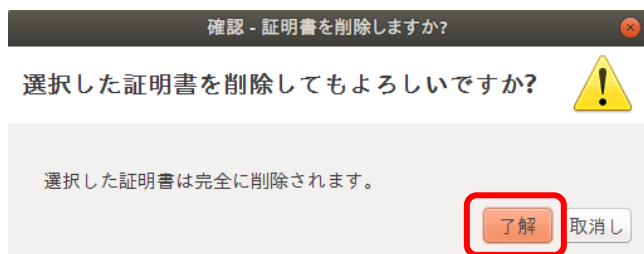
表示された有効期限を確認し、「閉じる」をクリックします

「To:」で始まる日付が有効期限です。

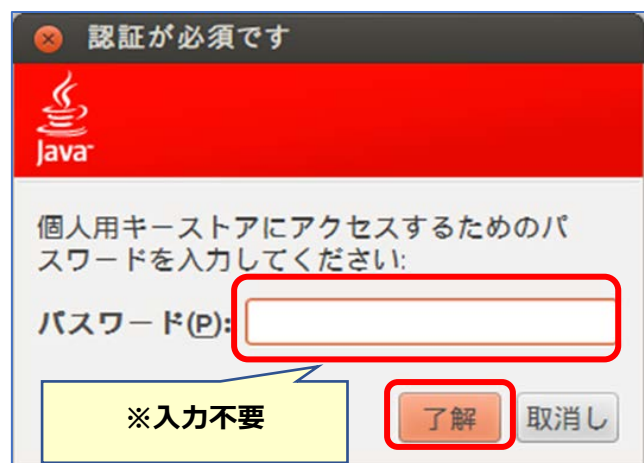


5. 有効期限の古い証明書が選択されていることを確認し、「削除」をクリックします。

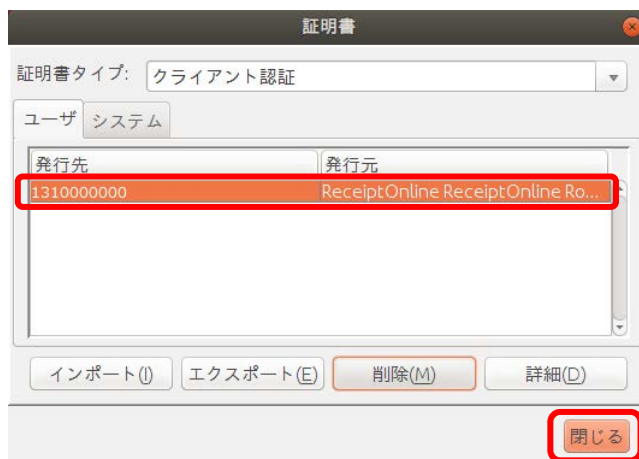
※ 新しくインポートした電子証明書を削除しないよう、有効期限の日付を十分確認して「削除」をクリックしてください。



6. 証明書削除確認メッセージが表示されます。「了解」をクリックします。

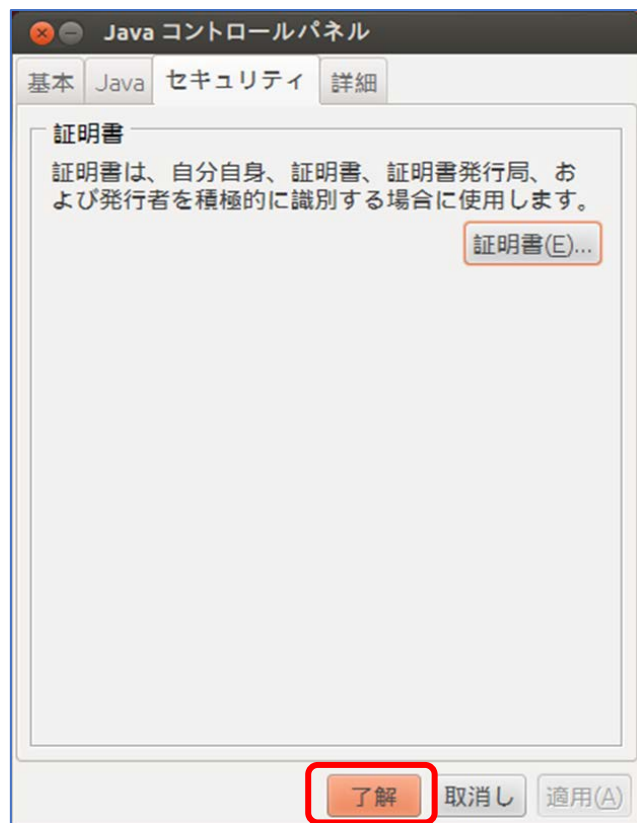


7. パスワード入力メッセージが表示されます。パスワードを入力せず、「了解」をクリックします。



8. 「証明書」画面に戻ります。

証明書が削除されたことを確認し、「閉じる」をクリックします。



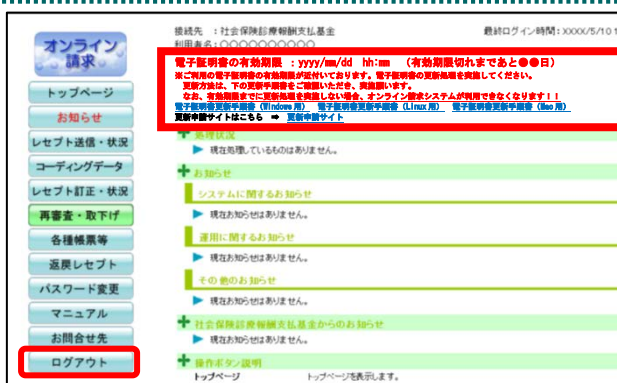
9. 「Java コントロールパネル」画面に戻ります。

「了解」をクリックします。

## 7 オンライン請求システムからログアウト及びログインをする

オンライン請求システムからログアウトし、再度ログインすることによって、電子証明書の有効期限 90 日未満の表示が消えます。

### 1. ログアウトをする

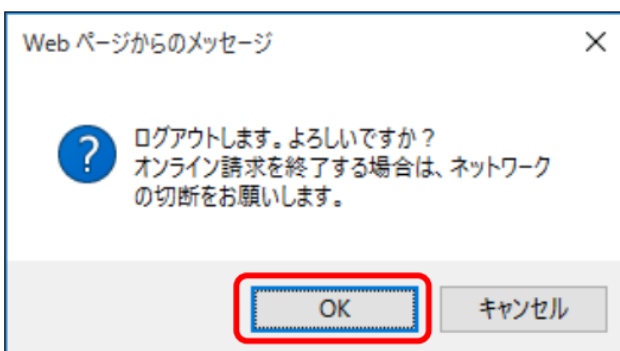


1. 電子証明書の更新作業※を完了したら、【ログアウト】ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。

※ 電子証明書の更新作業

電子証明書のダウンロード、インポート及び有効期限の古い電子証明書を削除



2. 【OK】ボタンをクリックします。

ログアウトされます。



3. 「環境選択」画面を閉じる場合は、画面右上の【×】ボタンをクリックします。

## 2. ログインをする

### ■Linux の場合



1. デスクトップ上の「オンライン請求」アイコンをダブルクリックします。

### ●医療機関・薬局の場合



2. 「審査支払機関選択」画面が表示されるので、【社会保険診療報酬支払基金】ボタンをクリックすると、「環境選択」画面が表示されるので、【請求】ボタンをクリックします。



オンライン請求システム

社会保険診療報酬支払基金

ユーザIDとパスワードを入力してください。

ユーザID

パスワード

**ログイン**

[利用規約](#) [プライバシーポリシー](#) [パスワードを忘れた方へ](#)

■ 請求に関するお問合せ  
 <社会保険診療報酬支払基金> 電話番号: 03-3581-7441 取扱時間: 平日 8時～17時

■ システムに関するお問合せ  
 <オンライン請求システムヘルプデスク> 電話番号: 0120-60-7210 取扱時間: 医療機関・薬局 保険者

■ 新しい電子証明書の発行申請はこちらをクリックしてください。  
[電子証明書の発行申請サイト](#)

[証明書ダウンロードサイト](#) (専用のID、パスワードが必要です。)

3. オンライン請求システムの「ユーザ ID」と「パスワード」を入力し、【ログイン】ボタンをクリックします。

オンライン請求システムの「トップページ」画面が表示されます。

接続先: 社会保険診療報酬支払基金  
 利用者名: OOOO OOOO OOOO

最終ログイン時間: XXXX/5/10 10:00

**電子証明書の有効期限: yyyy/mm/dd hh:mm**

※ 処理状況  
 ▶ 現在処理しているものはありません。

お知らせ  
 ▶ システムに関するお知らせ  
 ▶ 現在お知らせはありません。  
 ▶ 運用に関するお知らせ  
 ▶ 現在お知らせはありません。  
 ▶ その他のお知らせ  
 ▶ 現在お知らせはありません。

社会保険診療報酬支払基金からのお知らせ  
 ▶ 現在お知らせはありません。

4. 電子証明書の有効期限表示が黒色で記載されていることで、電子証明書の更新が完了したことが確認できます。